

新潟県優良リサイクル事業所 表彰 受賞企業のご紹介

株式会社能水商店

地域のサケ資源の有効活用と持続可能な仕組みづくり



受賞理由

魚体としての価値が低く、従来廃棄物処理されていた遡上サケの活用法を見出し、廃棄物の削減や漁協の収益増に繋げるなど、学生や地域と連携しながら事業を推進しており、先駆性・独創性がある。本取組は、同様の課題を抱えている地域への波及が見込まれる。また、魚醬粕が「アイスプラント」肥料に活用し得るなど、水産業のみならず農業への波及も見込まれる。製品の製造販売を通じて、地域のサケ資源の有効活用と持続可能な仕組みづくりに寄与していると評価した。

受賞の取組み

<連絡先> 株式会社能水商店

【住所】糸魚川市能生9396番地

【TEL】025-556-2932 【HP】<https://www.nousui-shop.com>

従来廃棄物処理されていた県内河川に産卵回帰する遡上サケを原料として、魚醬「最後の一滴」や鮭フレーク向け一次加工品等を製造・販売しています。また、マーケティングや関連商品開発には、当社と県立海洋高等学校、糸魚川市の3者が連携して取り組み、高校生の職業教育の一環として水産業を担う人材育成にも寄与しています。当社による魚体買い上げは、遡上サケの性質からイクラ等の販売に限られていた漁協の収益増にも寄与しており、循環するサケ資源を活用した持続可能な仕組みづくりの一端を担っています。2018年からは、社員が能生内水面漁協に加入し稚魚放流事業にも参画するなど、サケ資源管理に取り組んでおり、内水面漁協の高齢化と経営改善を克服する仕組みのモデルになると考えます。



注目技術・成果

「最後の一滴」は、サケの頭部・内臓・骨も含めて丸ごと発酵させて製造しています。2021年7月には唯一の廃棄物である搾りかすを原料とした釣り餌の製造販売を開始するなど、廃棄物の削減を図っています。



展望

2022年には、文部科学省「マイスター・ハイスクール事業(次世代地域産業人材育成刷新事業)」の一環で、海洋高校と連携し、「最後の一滴」を含めた地域水産資源の利用を図る拠点となる直営店の設置を予定しています。今後も、糸魚川市や県立海洋高校、近隣内水面漁協と連携し、付加価値の高い商品を通じた遡上サケの有効利用と資源管理に取り組んでいきます。



新潟県優良リサイクル事業所 表彰 受賞企業のご紹介

【株式会社バイオポリ上越】 バイオマスプラスチックの製造・販売を通じた持続可能な社会づくり



受賞理由

高度な混練加工技術により、様々な自然素材から樹脂を創る研究を重ねて展開していること、さらには未利用資源であったユーグレナ残渣を原料とした樹脂の製造に成功するなど、発展性・将来性に優れている。樹脂の製造から同製品の製造まで一括して行っており、輸入製品が多く見られる中、運送時のCO2削減にも寄与している。製造を通じたバイオマスの利用拡大により、持続可能な社会づくりに貢献していると評価した。

受賞の取組み

<連絡先> 株式会社バイオポリ上越

【住所】上越市大字辰尾新田1番地

【TEL】025-527-5525 【HP】<http://www.biopoly.jp>

古古米、米ぬか、もみがら、木くず、貝殻などの未利用資源を原料として、バイオマスプラスチック樹脂及び同樹脂からなる製品を製造・販売しています。2011年に県内の自治体で初となるバイオマスプラスチック製の指定ごみ袋として上越市に採用され、現在に至るまで改良を重ねながら製造を担っています。



注目技術・成果

当社では、インフレーション成形機、射出成形機を備えており、樹脂の製造からプラスチック最終製品の製造まで自社工場で一貫して行っております。難易度の高いバイオマス複合化技術の積み重ねにより、無機物、汎用樹脂を含む、高度な混練加工技術を習得しました。工業試験場レベルの分析機器も備えており、様々な自然素材からプラスチック樹脂を創る研究を重ねています。2020年には、まだ用途が定まっていなかった、将来的に大量に発生するユーグレナ(ミドリムシ)のバイオ燃料残渣を原料としたプラスチックの開発に、世界で初めて成功しました。



展望

国の「プラスチック資源循環戦略」において市町村の可燃ごみ指定袋等へのバイオマスプラスチックの利用促進等が重点戦略となっており、上越市などの先進自治体をモデルとして、この取組が他自治体に拡大していくことが見込まれます。ゴミになる物を資源利用することを心掛け、また、石油の節約にも貢献できるよう励んで参ります。



新潟県優良リサイクル事業所 表彰

受賞企業のご紹介

株式会社フーゲツ

環境に優しい包装資材全般の製造・販売を通じて、3Rを推進



受賞理由

長年にわたって廃棄物の削減とリサイクルに取り組み、実質ゼロエミッションを達成するとともに、リサイクル製品である花火皮玉の全国展開や、パレット・災害用ベッドなどリサイクル性が高い段ボールの新しい用途拡大などの成果を挙げ、発展性に優れている。米箱、日本酒の化粧箱、錦鯉出荷箱、花火の玉皮・筒蓋等の製造を行うなど、地場産業に深く関わった事業展開を通じて、地域の環境保全に寄与するなど、波及効果がある。環境に優しい製品の開発や販売を通じて、3Rを推進していると評価した。

受賞の取組み

<連絡先> 株式会社フーゲツ

【住所】小千谷市片貝町2489-1

【TEL】0258-84-4141 【HP】<http://www.fugetsu-co.com>

当社では、段ボール・プラ段・パルプモールド(古紙を水で溶かし、金網で抄き上げたあと乾燥してできる紙成形品)等、エコロジーな素材を使った梱包材、緩衝材等の包装資材全般を製造販売しています。米箱、日本酒の化粧箱、錦鯉出荷箱、花火玉皮・筒蓋等、地場産業に関わりの深い製品も製造しています。パルプモールドによる花火玉皮の製作は日本を含め世界でも唯一の取組みです。地上落下後に自然に還りやすいという特徴に加え、品質も評価いただき、全国販売しています。段ボール製パレットや重量包装等、顧客がリサイクルしやすい廃棄シーンを考慮した製品設計や、脱プラ製品の開発等を進め、幅広い分野で環境保全に取り組んでいます。



注目技術・成果

包装資材は多くが使用後に不要となるため、2000年より環境保全活動を始め、2001年に県内の同業者では初のISO14001の認証を取得しました。以降、廃棄物の削減や段ボールの100%リサイクル、加工残の古紙を活用したパルプモールド製品の開発、インク汚泥の排出量削減等の様々な取組みを実施し、2019年度にリサイクル率99.3%、実質ゼロエミッション(最終的な埋立処分量をゼロに近づけること)を達成しました。



展望

当社では、ユーザーの使用シーン・使用後をイメージした製品設計を心掛け、また花火玉皮に代表されるような、顧客ニーズを満たした、3Rを配慮した製品の開発を行ってきました。近年では輸出業者を中心に段ボールパレットのニーズも高まってきており、木パレットからの切り替えを進めるなど、これからも環境に優しい製品の開発に取り組んでいきます。

